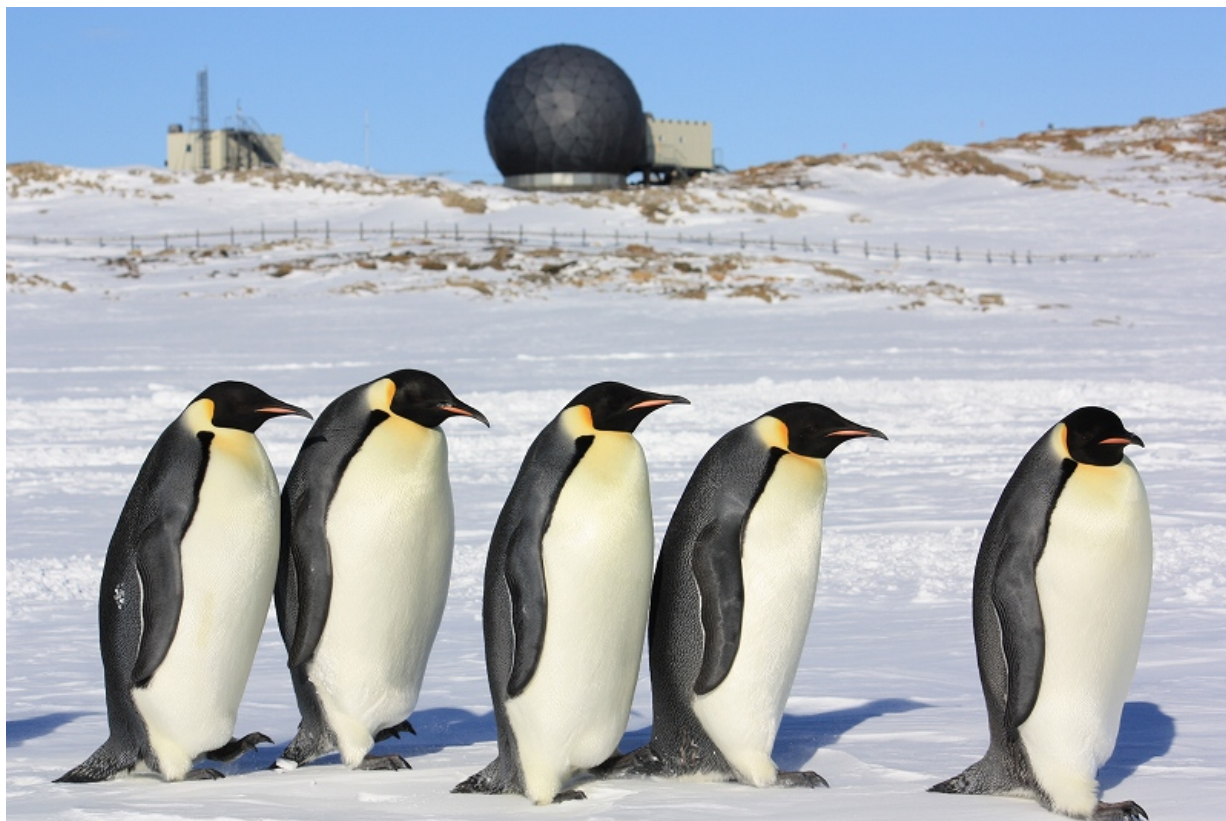


# 水色通信 2011年夏号



【南極のコウテイペンギン】

## 昭和基地の夏

2009年11月から2011年3月までの1年5ヶ月間、南極昭和基地で第51次日本南極地域観測隊越冬隊員として活動をしてきました。

南極は南半球にあるため夏は12月～1月の2ヶ月ほどです。この時期は白夜といって太陽が沈まず、昼間の気温はプラスになり強い日差しを浴びるとそれほど寒さを感じないこともあります。そのかわりに南極での楽しみの一つであるオーロラは見ることはできなくなります。

昭和基地への唯一の補給船である『砕氷船しらせ』がやってくるのもこの時期です。まったく外界から隔離された昭和基地に新たな隊員、物資、新鮮な食料が届き、基地で生活する人数も100人近くになり、様々な観測や基地整備作業が急ピッチで進められます。

記事・写真：小久保 陽介 氏  
(山岳ガイド、元サクセン社員)



# 地下水と地震

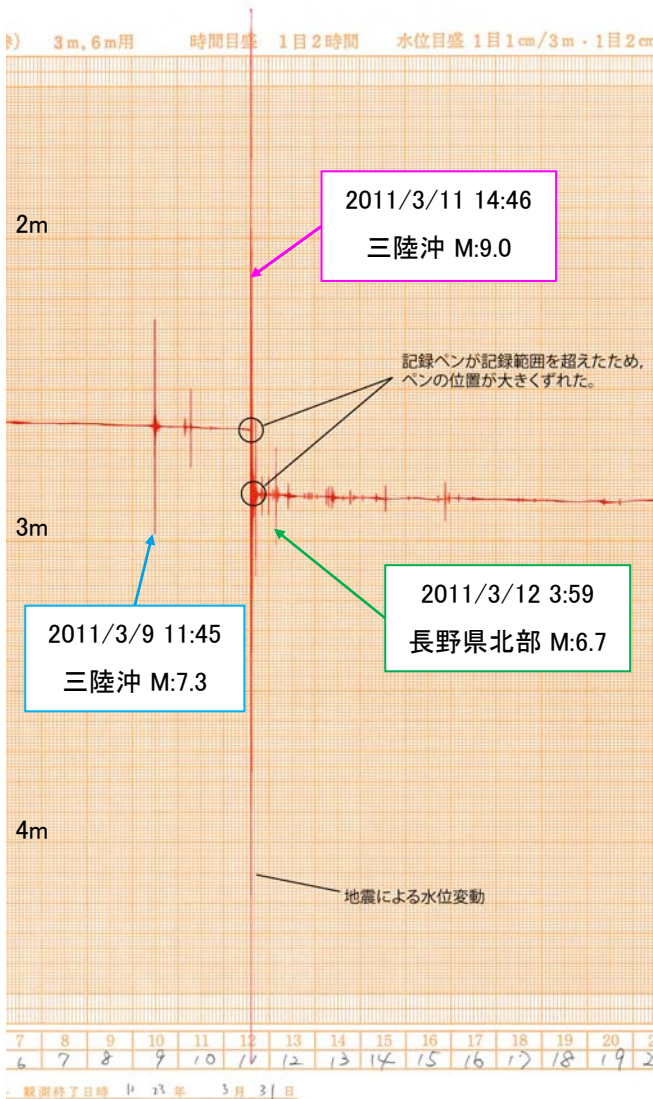
3月11日に未曾有の大震災が発生致しました。被災地の方々には心よりお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

この度の地震で長野県内でも「井戸水が濁った」「温泉が湧き出した」などを耳にしました。地下水の変化はおもに「地下水位」と「水質」に現れます。地下水位とは、地面から井戸の水面までのことで、深さで示します。水質は濁りや鉄臭さなどが最もわかりやすいでしょう。

今回の地震時に地下水位がどうなったのか、実際の観測データを紹介致します。

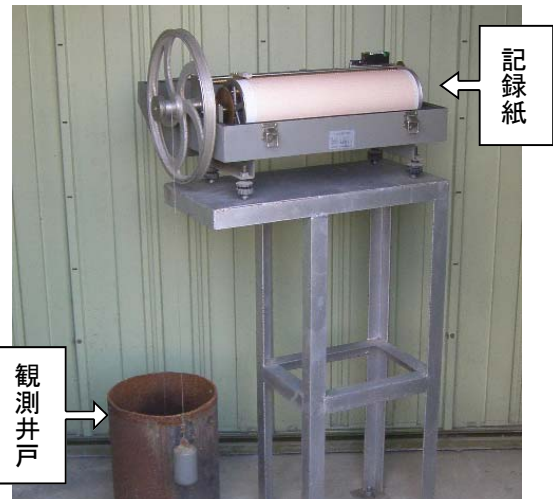
## ☆変動幅は3m以上！！（安曇野市豊科県民広場地内）

安曇野市で測定している深度100mの観測井戸の記録です。地下水位は写真の様に、記録紙をドラムに巻き付けて測定します。



3月11日に地下水位が上下に大きく変動し、測定範囲(3m)を超えてしまっていることが見て取れます。この井戸の1年間の変動幅は1.5~2.0mですので、およそ2倍の上下動があったこととなります。このような現象はスマトラ沖地震や新潟県中越沖地震の時にも見られましたが、ここまで大きな変動を示したのはこれが初めてです。翌日の12日の水位変動が長野県北部地震によるものです。震源地に近いにも関わらず、変動幅は30cm程度と小さいです。地下水位の変動は、地震の規模や種類(プレート型・直下型など)により違いが出る傾向です。

ところで上昇と下降のどちらが先だと思いますか？残念ながらこのデータからはどちらが先かはわかりません。いずれにしても震源から400km以上離れた場所でこんな現象が起きているとは驚きです。



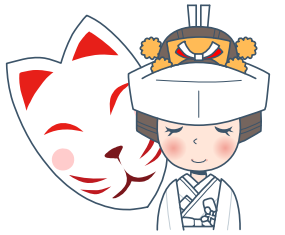
【写真：フロート式自記水位計】

### 【水位観測記録紙】

(安曇野市：「平成22年度地下水位観測調査」平成23年3月より抜粋・加筆)

7年に1度の奇祭

# 狐の嫁入り



東筑摩郡筑北村青柳地区で3月27日、「狐(きつね)の嫁入り」が行われました。狐の嫁入りは数えて7年に一度開かれる稲荷神社の春祭りです。このお祭りは、キツネの花嫁や仲人の女性役を含め、すべて男性が扮

しているところが珍しいお祭りです。長持ちや仲人、花嫁を乗せたかごなどの行列が太鼓や笛が鳴り響く中、約1キロを3時間ほどかけて神社の参道入り口まで練り歩きました。この青柳地区は江戸時代に、あの松尾

芭蕉も歩いたといわれている善光寺街道の宿場町として栄えた集落です。急斜面の地形に宿屋などが密集していたため、度々起きる火災に大きな被害を被ってきました。しかしある時、狐が夜回りをし、火事を防いであられたということがあり、狐は火事から守ってくれると崇められ、それから稲荷神社を信仰するようになりまし

ました。また、狐は犬を怖がるので、狐を怖がらせないようと、今日でも犬を飼わないという習俗が残っています。近年、祭りを継承する地区の若い男性が少なくなっており、将来お祭りの存

続を危惧する声がかれます。しかし、このような伝統があり、かつユーモラスなお祭りをいつまでも後世に伝えていくしてもらいたいものです。次回の狐の嫁入りは、2017年(平成29年)3月です。是非皆さん、足を運んでみてはいかがでしょうか。



## 新 松本・安曇野 宝かるた



ふうけつ

### 風穴は 涼しい自然の 冷蔵庫

地下水で冷やされた空気が地表に出てくる場所を風穴(ふうけつ)と言います。安曇地区の稲核一体は湧水にとみ、清水の流れ出る付近に風穴があって冷風が通っています。年間を通して8～9度の温度を保ち“天然の冷蔵庫”として古くから利用されてきました。

## 信州水めぐり



松本市

### 日の出の井戸

勤労者福祉センターとカタクラモールとの間の道路に面した場所にあります。

ひっそりとした静かな流れは「雑踏のオアシス」と言ったところです。

住所：松本市中央4-7-26

勤労者福祉センター

竣工：平成21年度

## こっそり教える信州ロケ地

今年4月からNHKで放送されている、信州安曇野を舞台とした連続テレビ小説「おひさま」。毎日楽しみにしている信州人は多いと思います。その「おひさま」にまつわるちょっとした情報をご紹介します。

- ☀️ アルプスをバックにした赤いとんがり屋根の店（陽子のそば屋「百合花」）の外観セットが、大王わさび農場の駐車場にあります。
- ☀️ そば畑のシーンは、大町市美麻中山高原で撮影されました。昨年8月末に多くの場所から選ばれました。また、菜の花畑もきれいですが、今年はシカの食害で見られなかったそうです。
- ☀️ イラストで描かれた中山高原のビューポイントマップが、大町観光課より発行されています。また、おひさま応援サイト「安曇野すまいる」では、安曇野市のロケ地が紹介されています。道祖神と水車小屋のロケ地がわかります。  
(「安曇野すまいる」URL：<http://ohisama.azumino-e-tabi.net/>)

また、日本アルプスを舞台とした映画「岳－ガク－」が5月から公開されています。そのロケ地となった大町山岳博物館では、映画の公開に合わせて特別展が開催されています。

発行元

 株式会社 **サクセン** 60th

季刊 水色通信 編集部

〒390-0833 長野県松本市双葉6番1号

TEL: 0263-25-1802(代表) FAX: 0263-25-9642(代表)

<http://www.sakusen.co.jp/>

サクセンでは、井戸・温泉の掘削やメンテナンスをはじめ、地質調査・土壌汚染調査などを業務としております。

また、家庭用井戸などの身近なお悩みにも対応いたします。是非一度、ホームページをご覧ください。

サクセン

検索

